



地域ささえあい通信

ふくしのおたより

丹波市社会福祉協議会
市島支所 ☎85-0517

2023



12月

11/19 横峰・高谷山5(ファイブ)サミット開催！！

市島地域では、令和元年7月から月1回のペースで、市島地域自治振興会長会を開催しています。

生活支援体制整備事業の推進にあたり、各地区の情報交換が目的ですが、その時々に直面する情勢についての情報共有や、悩みが相談できる場でもあります。社会福祉協議会が事務所を担い市・市島支所、東部地域包括支援センターも出席し、関係機関の連携の場となっています。



今秋50回を越す会議開催となり、以前から提案に出ていた横峰・高谷山山頂で、自分達の住む地域を見ながら将来を話そうという「サミット」がついに実現しました。

この日は人口推移を見ながら意見交換を交わした他、それぞれの地区の取組みなどについて話し合いました。



★生活支援体制整備事業とは

少子化高齢、人口減少などの問題があるなか、人口が減っても、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、住民が主体となり考えていく事業のことです。

平成28年から丹波市より委託を受け、

- ①支えあい推進会議の推進
- ②ふだんにくらしサポートセンターの運営(くらし応援隊の活動調整)
- ③よろずおせっかい相談所の設置があります。

フードドライブへのご協力ありがとうございました

食品寄付を呼びかけておりましたフードドライブ事業は、12/14と12/15に丹波市で155世帯、市島地域からは14世帯へお渡しすることができました。



支えあい推進会議の様子や取り組みを紹介します

前山地区いつせ支え合いの会

支えあい推進会議で、昨年度に地区内の困りごとアンケートをとった結果から、この度文化祭開催中に送迎バスを出す日を作られました。

地区内の広報チラシに掲載された運行表は、バス利用される参加者の乗車場所を入れたコースも加えながら、コースの下見と時間計測をされて作成されました。

当日はバスが運行中である放送も入れるなど工夫されていました。運行途中に友達を誘って乗車される姿もあり、10名が利用者がされました。今後の協議材料とされます。

アンケート結果から把握した地域の声を受けて
~集いの場へ参加しやすくしたい~



同じ地区内でも知っていますか？ ～各自治会の取組みや困りごとの把握～



竹田地区支えあい推進会議

12/1の会議では、支えあい推進会議の役割を再度振り返りました。前日に丹波市内の支えあい推進会議関係団体で行った意見交換会の様子も取り入れての協議となりました。

各自治会から取組みとして、「集いの場に参加者が増えたこと」や、「いきいき百歳体操で男性が多い団体」、「サロンで楽しんでいる様子」などのリアルな報告があり、隣の自治会でも知らないことや、取り組みの方法を知る機会となりました。

一方で、「気になるが声かけなど関わるタイミングの難しさ」、「集いの場への参加がない方についての対応」などが共通した悩みとして挙がりました。引き続き協議されています。

★支えあい推進会議とは

人口減少と少子高齢化の社会のなか、地域で困りごとを話し合う仕組みづくりを行っています。生活支援体制整備事業のうちの一つ。市島地域には5地区にあり、会議の名前も様々です。地区で課題とすることはそれぞれあるため、協議内容や会議のメンバーも地区ごとに違いがあります。

